

市民活動団体紹介

ドイツゲームの会 トイトイ

テレビゲームもいいけれど、みんなでいっしょに遊びたいという時に、ボード(卓上)ゲームはいかがですか。オセロゲームなどで知られるボードゲームですが、ドイツでは各家庭でさまざまな種類のゲームを揃えていて、家族や友人といっしょに楽しんでいます。子どもも大人も夢中になって、いろんな人と仲良くなれるドイツのボードゲーム。私たちはその楽しさをたくさんの人に知ってもらいたいと、6年前に活動を始めました。



▲月寒公民館で行ったクリスマス・ドイツゲーム会の様子

昨年は月1回のペースで月寒公民館をはじめ、さまざまな場所でゲーム会を開き、数多くの人々と交流できました。今年も初心者歓迎のゲーム体験会や出張ゲーム会などを開催します。詳しくはホームページをご覧ください。

【問い合わせ】 tiexiong48@yahoo.co.jp (高橋)
URL: board-game.jimdo.com

前田森林公園凸凹クラブ

このクラブは、前田森林公園を活動の拠点とし、公園内の自然観察会、自然木を利用した自由木工、また管理事務所主催の藤まつりなどの祭典の支援等々、年間を通して若者男女を問わず無理なく気軽に活動に参加できる楽しい集まりです。



▲自由に木工細工ができるトンカチ広場

この公園は、周辺住民の生活圏の一部であり、多くの子供達にとっても身近な遊び場となっています。

特に、トンカチ広場は、自然木・木の実・建築端材などを利用し、昆虫や動植物などの木工細工が自由にできる木工広場として人気があります。皆さんも是非一度この公園の活動に参加してみませんか。

【問い合わせ】 kaijin98@yc5.so-net.ne.jp (石田)

読書普及協会札幌支部

読書離れが進む中、読書の楽しさ、大切さを伝えていきたいと活動しています。迷ったとき悩んだとき、出会った本に支えられた経験を紹介する「お話し会」をはじめ、時には著者呼んで講演会を開催。児童養護施設を訪問して本を紹介する活動もしています。



▲お話し会では本に支えられた自分自身の経験を話すことも

定例の読書会は毎月1回。長く読み継がれてきた文学や古典など、心の支えになるような本を各自が選び、紹介しあっています。作家やジャンルなど読書の幅が広がるだけでなく、人それぞれの感じ方や捉え方の違いを知ることもでき参考になります。

読書は思考力を養います。相手を思いやる心や想像力が育ち、たくさんの方の心を育ててくれます。本のことなら何でも、気軽に聞いて下さい。ご案内します。

【問い合わせ】 090-5074-9318(穴戸)

札幌市市民活動サポートセンター登録団体をご紹介します。このコーナーは編集ボランティアスタッフが担当しています。

さっぽろの「おサイフ」を知る会

札幌市には、1兆7千億円を超える借金があると云われています(平成28年度)。では、私達が納めている税金は、どの様に使われているのでしょうか？



▲定例会の様子。見学も可能です

そんな思いから、2006年に会が発足し、2008年には過去20年間の市の財政状況を分析した「市民がつくった札幌市の財政白書」を発行しました。政令指定都市で初の「白書」として、現在でも全国で参考にされています。

毎月第1・第3木曜日の13時~16時まで、エルプラザで例会を開き、活動しています。

市の財政に興味関心をお持ちの方々、一緒に勉強しませんか？

【問い合わせ】 011-726-0344(飯原)

日本語ボランティア「たんぽぽ」

札幌市や近郊に在住している外国人の方々に、日常生活に役立つ日本語をレッスンする活動を1993年から行っています。日本語のレベルごとに3クラスに分かれて、毎週金曜日にエルプラザで授業を行っています。クラスの中では、日本語だけを使って、より実践的な内容のレッスンになっています。



▲各クラスともに10名程度の生徒で、真面目に、でも楽しく勉強しています

日本人と結婚して来日した人、留学生、日本に赴任した企業人等々、生徒さんの事情は様々ですので、時には、テキストを離れて、貴重な情報交流の場にもなっています。

これからも、日本語を勉強したいという外国人の方々の熱意に応えていきたいと思っています。

【問い合わせ】 nihongo-tanpopo@hotmail.co.jp
URL: tampoponihongo.blogspot.jp

アンケートの実施について

『みんなのしみサポ』では、読者の皆さまと、第38号~第45号に情報を掲載させていただいた市民活動団体の皆さまから、感想やご意見を伺いするためのアンケート調査を行います。読者アンケートは、札幌市市民活動サポートセンター窓口、または下記のWEBアンケートフォームより、どなたでもご回答いただけます。今後の誌面作成の参考とさせていただきますので、ぜひ、率直なご意見、ご感想をお寄せください。

「みんなのしみサポ」第46号アンケート
https://jp.surveymonkey.com/r/XWQY53Q



※掲載団体の皆さまへは、直接アンケートをお送りいたします。

みんなのしみサポ

札幌市市民活動サポートセンターだより

第46号 2017.3

市民活動団体登録数(2月末現在)

市民活動登録団体 …… 2,642団体
男女共同参画活動団体 …… 58団体
消費者活動団体 …… 31団体
環境活動団体 …… 56団体

札幌市市民活動サポートセンターはNPOやボランティア活動などの市民活動を支援する拠点施設です。

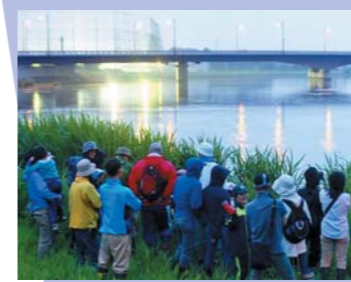
札幌に暮らす野生の生き物を知ろう！

みなさんは、札幌で野生の生き物にばったり出会ったことがありますか？札幌市は人口約195万人、国内第5位の大都市でありながら面積の約60%を森林が占め、人が生活する身近な場所に多種多様な生き物が生息しています。そんな中、ある一つの生き物に着目し、それぞれの視点でまちづくりに繋げる活動をしている市民活動団体があります。知っていますか？札幌に暮らすこんな野生の生き物のはなし。

いつもと違う一面から世界を見る



▲テーマは「さかさま」。逆転の発想、表裏一体。昼と夜、メジャーとマイナー、白じゃなくて黒。コウモリは全てにおいて「裏」というのが面白い



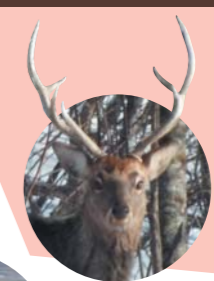
▲観察会では、たとえ暗闇で姿が見えなくても、探知機(超音波の機械)を使ってコウモリの気配や声を感じ、確かにそこにいることを確認できる

コウモリは哺乳類の中でも種類が多い動物です。それはいろんな環境で生きていることを意味する。つまりはどこにでもいます。それには餌となる虫や、住処になる太い木、枯葉、それらを育む林や川などの自然がないと生きていけません。コウモリがいる所にはそれだけ豊かな自然があるということなのです。

私は道内でコウモリがいない市町村はあり得ないと確信している。道内全ての市町村で活動を行いたいと思っています。一秒でも写真に目を向けることで、それまで全く認識していなかったコウモリが、見飽きた風景の中に「いる」ことを意識するきっかけになればいい。身近過ぎて気づかなかった土地の良さや自然の素晴らしさに目を向けてほしいのです。地元の人が「だからここに住んでいるんだ」と自分の幸福感を持つことから広がるまちづくりがあってもいいですね。(中島宏章さん)

コウモリの写真展、講演会、観察会を各地で行うプロジェクト。自然とヒトとのより良い関係を目指して活動している

あなたの街のコウモリの森プロジェクト
メール: info@hirofoto.com
Facebook: https://www.facebook.com/koumorinomoroi/
イベント: 「あなたの街のコウモリの森 in 倶知安」
写真展 3/5(日)~3/23(木)
講演会「コウモリの驚くべき能力の数々」3/23(木)
会場 倶知安風土館



▲エゾシカの角を使った子ども向け工作会の様子。角を丁寧に磨くと、とても艶が出てキレイな仕上がりになるのだそう



▲エゾシカ肉を使った料理教室。鉄分豊富で高タンパク質なエゾシカ肉は、ヘルシーな食材として注目されている

これまで破棄されてきたエゾシカの肉、皮、角、骨などを有効活用し、北海道の環境保全を考え、まちづくり、経済活性化につなげることを目的として、さまざまな事業を行っている

野生のサケが生きるまちのために



▲サケのモニタリング調査。ホツチャレ(川に戻り産卵を終えたサケ)を計測し、卵を産んだ場所を数える



▲札幌の街中を流れる豊平川で自然産卵するサケの観察会。湧水があり、産卵に適した大きさの石が重要であること等を解説

大都市札幌を流れる豊平川には、自然産卵する野生のサケがいます。豊平川では、川の汚染などでサケが遡上しない時もありましたが、1970年代の市民運動により、再びサケが遡上するようになりました。そして、自然産卵が30年以上繰り返された今では、豊平川に戻るサケのうち、約7割が野生魚であることがわかってきました。豊平川の環境に適した野生のサケを大切にしたいというのが、私たちの思いです。

サケをより身近に感じてもらえるように、小学校での学習会、バスツアーやサケの写真投稿企画などイベントにも力を入れています。将来、川の流れや価値観が変わり、今とは違う取り組みが必要になるかもしれません。その時に自分たちが住む街に野生のサケがいることを誇りに感じ「サケとどう関わっていくか」と多くの人に考えてもらえる街になっているといいですね。(有賀望さん、森田健太郎さん)

「札幌市内を流れる豊平川の野生サケを大切にしよう」と立ち上がったプロジェクト。野生のサケを増やすために、稚魚の放流数を順応的に管理したり、自然産卵の環境を作るための川底整備や、市民向けイベント等を実施している

札幌ワイルドサーモンプロジェクト
メール: swsp.daihyo@gmail.com
URL: https://www.sapporo-wild-salmon-project.com/

みんなのしみサポ 第46号

- 発行日: 平成29年3月
- 発行: 札幌市市民活動サポートセンター
指定管理者: (公財) さっぽろ青少年女性活動協会
- 住所: 〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ公共4施設2階
- アクセス: JR札幌駅北口より徒歩3分
(札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)
- 電話: (011)728-5888 ●FAX: (011)728-7280
- ホームページ: http://www.shimin.sl-plaza.jp
- facebookページ: https://www.facebook.com/shimin.sl.plaza



みんなのしみサポ 編集ボランティア活動の様子



取材を受けてくださった団体が希望していることは何か?今後の誌面づくりに活かすために、みんなでアンケートの設問を検討しました。率直な感想やご意見をお待ちしています!

『みんなのしみサポ』は編集ボランティアスタッフと札幌市市民活動サポートセンター職員が協力して作成しています。

街で外国人に道を尋ねられた時、**ドギマギ**した経験ありますか？



取材に際して、しみサボ編集ボランティアスタッフは[ACCESS]のスタッフ会議に参加させていただきました。その席上、参加者の全体像や参加動機を知るためのアンケート調査の実施をお願いしました。その調査結果から見てきたものは…

◆◆ **どんな人たちが学んでいる？**

札幌在住の30歳代から50歳代が半数を占め、男女比はほぼ半数。会社員など仕事を持った人が5割を占め、主婦と退職者は3割です。英検取得者は5割弱、TOEIC受験者が4割、英語力を活かしたボランティア活動をしている人が2割もいます。



長年[ACCESS]に通うFさん。英語学習の成果を時計台の通訳ボランティアに活かしている

◆◆ **[ACCESS]の良いところは？(複数解答)**

- 1位「会費が安い」
- 2位「ネイティブ講師との会話」「交友関係を広げることができる」
- 3位「英語力を伸ばすことができる」



自らも英語を話せるようになりたいと[ACCESS]に入会したしみサボ編集ボランティアスタッフのKさん(左) 勇気を持ってネイティブ講師と会話中



半数近い人が「ほぼ毎回」参加していると回答。参加意欲の高さが見て取れる

●参加方法 日時:毎週金曜日の夜19:00~20:40頃迄
場所:札幌エルプラザ4階 大研修室or中研修室 参加費:600円
対象:18歳以上(高校生原則不可)参加費600円で体験できます。事前予約不要

今回ご紹介するのは…

[ACCESS (札幌英会話協会)]

55年続く札幌市民による非営利の英会話学習支援団体です

[ACCESS]って何？

英語をスラスラ話したい、英会話を習ってみたいと、一度は思う人は多いはず。しかし、英会話教室に通うにはハードルが高すぎて二の足を踏む人が多いのではないのでしょうか？55年も続く「ACCESS」の魅力を探ってみました。

1962年、「札幌市民による札幌市民のための英会話サークル」【ACCESS(正式名称・札幌英会話協会)】が立ち上がりました。

設立当初の会員には、あの元宇宙飛行士の毛利さんも参加していました。一切、営利を目的とせず会員自身が主体的にかわり自主的に会を運営する組織です。参加方法は事前予約の必要もなく、90分のレッスンで費用は参加費(600円)のみ、しかも4人のネイティブ講師が毎回、適切なアドバイスしてくれます。

会場はJR札幌駅北口の「エルプラザ」で毎週金曜の夜、19時から始まります。常時、40~50名の参加者は4つのグループに分かれグループレッスンを楽しんでいます。

4つのグループはそれぞれレッスン方式が異なり、参加者自身の英語レベルと自分にあったレッスン方式を考慮してグループを選択することができます。途中でグループを代わることも参加者の自由です。

会の運営は会員自身がスタッフの一員となって、会場予約、会費の管理、参加人数の把握、ネイティブ講師との連絡など、毎月開かれるスタッフ会議で連絡・報告が密に行われています。年次会計報告、年間活動の決定などもスタッフ会議で決定されています。

取材を終えて

英語は大の苦手、英会話と聞いただけで緊張してしまうほど。そんな中での取材で感じたのは、やっぱり英語が話せたらカッコイイということでした。年齢層もレベルも様々な方たちに共通していたのは、レベルアップを目指す姿勢。アンケートの中でも入会の理由を7割の人が「英語力を伸ばす」ためと回答しています。

私は英語がわからずチンプンカンプンでしたが、緊張感の漂う中に時々笑顔がこぼれる瞬間がありました。このバランスが【ACCESS】が55年も続く秘訣ではないかと…そんなことを思いました。

●お問い合わせ先
E-mail :access-info@sapporo-ess.com
URL : http://sapporo-ess.com/join.html

みんなの市民活動相談

最近寄せられた市民活動に関する相談をご紹介します。

Q1 自分でやりたいことのアイディアがあり活動を始めたいと思っていますが、何かから手をつけていいのかよく分かりません。



市民活動相談員 小泉 雅弘 さん (さっぽろパブリックサポートネットワーク)

A1

頭の中にアイディアはあるが、実際の活動に結びつかないというケースはよくみられます。市民活動には個人でもできることもあります。活動に広がりをもたせ団体を立ち上げたいのであれば、まずはその活動に興味を示し、動きを共にしてくれる仲間を見つけることが大切です。一人でも二人でも、そうした仲間が見つければ、活動を具体化する大きなステップとなります。頼りになるメンバーが何人か集まれば、自分たちのやりたい活動の趣旨を文章にしてみましょう。それが会員や賛同者集めの呼びかけにつながりますし、より具体的な活動内容や運営のルール(規約)を固めていくことで、助成金の申請や法人化などの際の手続きの基にもなります。

Q2 NPO法人が寄付等を受けた際に作成する領収書には、印紙を貼る必要はありますか？



税務・会計相談員 瀧谷 和隆 さん (税理士)

A2

印紙税法は、「金銭又は有価証券の受取書」(17号文書)について、「営業」に関しない受取書は非課税と定めています。NPO法人は、法律や定款で、利益金又は剰余金の配当又は分配が禁止されているため、NPO法人の行う事業や活動は「営業」には該当しないと解されます。よって、NPO法人が発行する領収書には、印紙を貼る必要はありません。なお、請負契約書や土地賃貸借契約書や借用書等については、NPO法人であっても通常通り印紙を貼る必要があります。

このコーナーで紹介した図書は、札幌エルプラザ公共4施設1階の情報センターで借りることができます。

図書紹介

「社会を変えるには」
小熊英二【著】
講談社現代新書

市民活動に関わるということは、「社会を変えたい」という思いを具現化することです。新書ながら500ページを超える厚さのこの本には、日本の社会運動の変遷や民主主義を生み出してきた思想とその限界、そして現代社会において社会を変えていくための手がかりとなる著者の考えなどが書かれています。活動のノウハウを解説する本ではありませんが、一歩引いて市民活動とは何かを考えるうえで参考になります。

図書紹介

「NPOの法律相談ー 知っておきたい基礎知識60」
BLP-Network【編】
英治出版

NPO法人と一般社団・財団法人等との違い、社員総会や理事会の運営、資金調達時の注意事項、スタッフ等との人事問題等、NPO法人の設立から解散するまでに生じると考えられる問題を分かりやすく解説しています。

お知らせ

札幌市～所轄庁から
特定非営利活動促進法(NPO法)が改正されました。

改正の主なポイントは以下のとおりです。

- ・事業報告書等の備置期間が延長されます。(平成29年4月1日から)
これまで翌々事業年度の末日までとされていましたが、「作成の日から起算して5年を経過した日を含む事業年度の末日まで」となります。所轄庁で閲覧・謄写できる書類も、過去5年間に提出された書類となります。(平成29年4月1日以後に開始する事業年度から適用。)
- ・認証申請時等の所轄庁の縦覧期間が短縮されます。(平成29年4月1日から)
これまで2カ月間とされていましたが、1カ月間に短縮され、より迅速な手続きが可能となります。
- ・貸借対照表の公告が必要になります。(別途、政令で定める日から)
毎年度、貸借対照表を公告する方式となり、従来の「資産の総額」の登記が不要となります。(本規定の施行日は、法律の公布の日(平成28年6月7日)から2年6か月以内で別途定めた日となりますので、それまでは、「資産の総額」の登記が必要です。)
※このほか、内閣府ポータルサイトにおける情報提供の拡大、認定・仮認定法人が作成する役員報酬規程等の備置期間の延長、海外送金に関する書類の事後提出、仮認定から特例認定への名称変更があります。
詳細は、内閣府ホームページをご覧ください。
<https://www.npo-homepage.go.jp/kaisei>

【お問い合わせ先】 〒060-8611札幌市中央区北1条西2丁目札幌市民活動促進担当課 TEL 011-211-2964
E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp URL:http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/index-1.html

市民活動サポートセンターから

相談窓口

市民活動相談
活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが相談をお受けします。

税務・会計相談
北海道税理士会所属の税理士が法人会計等の相談に無料でお答えします。

法律相談
「NPOのための弁護士ネットワーク」の弁護士が市民活動団体・NPO法人運営に関する法律のご相談に無料でお答えします。

相談日時
火曜～金曜日 15:00～18:00 (祝日休)
※「税務・会計相談」「法律相談」は完全事前予約制です。予約は相談日の前週月曜日までをお願いします。※4月以降の日時については、直接、札幌市民活動サポートセンターまでお問い合わせください。

会場 札幌市民活動サポートセンター相談窓口

札幌市民活動サポートセンター情報誌「みんなのしみサボ」編集ボランティアスタッフ募集
本誌「みんなのしみサボ」を一緒に作ってくださるボランティアスタッフを募集します。

対象・定員 おおむね20～65歳程度で、市民活動情報誌作成に興味があり、月1回の編集会議および取材活動などに参加できる方 10人程度

申込期間 4月11日(火)～4月24日(月)

申込方法 札幌市民活動サポートセンターで配布する所定の申込用紙を記入し、窓口で直接お申し込みください。

※他にも役立つ情報をHPに掲載していますのでご覧ください。HP:<http://www.shimin.sl-plaza.jp>